

050203 M1 居住者インタビュー・木和田とよ子さん 博さん

インタビュアー:中村 政人 アシスタント:福田 啓作

中村 (以下、N) :まずは M1 をご購入された当時の状況についてお聞かせ頂けますでしょうか？

木和田とよ子さん (以下、K) :昭和 50 年夏頃、ちょうど家を探していた時に、川崎市付近に直下型地震が起こるということをニュースで聞きました。 横浜の展示場を見に行き此までと違った視点で見て回りました、地震に強いということでハイムに決めたんですね。

博さん (以下、H) :地震に強いということが一番で、あとはこのリビングの広さでしょうね。

N:当時の家族構成はどのようになっていらしたのでしょうか？

H:親父がまだおりまして、僕がまだ就職したばかり、弟はまだ大学生で、母を含めると計 4 人でした。

N:その他に M1 を購入された理由というのはあったのでしょうか？

K:展示場で色々お話しを伺ったら、割にインテリの方が M1 を選ばれるということでした。外見をパッと見たら恰好悪いですよ (笑)。それでも自分たちの希望に叶いそうだとということで、急遽決めました。土地を昭和 50 年 9 月に探し購入 (あくまで角地が条件) して、10 月にハイムと予約、12 月末から建築に取りかかる。

H:それまでずっと社宅でしたからね。

K:夫の転勤が多く、やっとな年前になって、家を作ろうかということになりました。家を作ってまだ 1 年しない内に転勤の辞令なんです (笑)。

H:家を作ると転勤になると言うジンクスどうり 親父とお袋は埼玉に行きマンション暮らし、弟は先に結婚し、僕一人で住んでいました

N:そうすると、こちらの住まいに住まわれて何年になるんですか？

K:約 30 年弱です。 昭和 51 年の 2 月始めに完成、 2 月 13 日に引越しをしました。1 年経たない内に転勤辞令、私は結婚してから十数回の転勤です。

H:まあ、この家が初めての自宅ということですね。

N:それまでの住宅というのは大工さんが来て工事をするような、いわゆる在来のものがほとんどだったと思うのですが、M1 は工場生産されて工期が短かったと思うのですが、その点に関しては何か感想をお持ちだったのでしょうか？

H:社宅に入っていましたから、その間の工事期間はあまり気にならなかったですね。

N:そうすると、耐震性や・・・。

H:そうですね。耐震性や広さ、それから値段等の要素が合ったように思います。いくらだったかな？

K:土地を含めて 2 千万円位で押さえようということでした。

N:では価格も魅力的だったということですね？

H:そうですね。

K:御縁があったということですね。

N:住まわれてみて、数回地震に遭われていると思うのですが、やはり耐震性には問題がなかったのでしょうか？

H:別に壊れていないから、というだけの話で（笑）。大きな地震には遭っていないから。

K:神戸・阪神の地震の際にも、ハイムは残っていたという話でしたから、選んで良かったなと思いましたね。1階に居ると地震を感じないんですよ。よその家は凄く揺れるとか。第一、音が外に漏れないということがありますね。息子が音楽好きなものですから、クラシック等を大音量でかけるので、近所に音が漏れていないかどうか確認してまわったら、漏れていないらしく、これはいいなと思い安心しました。

N:M1の特徴として、四角い箱のような外観という点があったと思いますが、ご近所の方の評判はいかがだったのでしょうか？

K:朝お勤めにいかれた方が、帰ってきたら家が建っていたからビックリしたとおっしゃっていましたね（笑）。おまけにマッチ箱を積み上げたような恰好ですからね（笑）。

H:家の周囲には全然家が無かったんですね。家の前と後ろに1件ずつ建っていた位で、他はまだ造成されただけの空き地でした。

K:まわりに何も無かったから、西風が吹くと家がフワッと浮き上がるような感じでしたね。

N:今日もこちらまで歩いて伺ったのですが、家がびっしり建っていて、その当時の面影は無いですね。

K:ここは相鉄が開発した土地ですが、昔は田んぼだったらしいですよ。

N:今のお話を伺っていると、家族構成の変化に際して、息子さんがお1人で住まわれていた時期があったということですが、1人では少し広くなかったですか？

H:仕方無いですよ。会社が近くて、家から15分位の所でしたから気楽でしたけど。1～2週に1度両親が帰ってくるという感じでした。

N:そうすると4人で住まわれた時期というのは？

H:ほんのちょっとですね。弟も会社に入って1年足らずで結婚してしまいましたから。

N:M1の初期のコンセプトに、家族構成等の変化に応じた、ユニット単位での増改築によるフレキシブルな対応という点があったと思うのですが、そういった増改築を行われたことはあったのでしょうか？

K:最初はまだ次男が居ましたから、部屋を洋室・和室1つずつ確保して、上にユニットを載せることが可能なような仕様にしてもらったんですね。そしたら、上にユニットが載っている1階部分のユニットは強度的にもしっかりしているから、もし2階にユニットを載せるなら、1階のユニットを上を上げて、下にしっかりしたものを持ってきましょう、ということでした。そうしたら、数年後計算して見たら、強度をとって見ても何も心配無いということで、上にユニットを載せられますよ、ということでした。良かったなと思ひまして、何もかも好都合にいったんですよ。

N:それでユニットを載せたんですか・

K:いえ、載せていないんですよ。家族は減るばかりだったから（笑）。

H:それでも、外側は替えていないですが、中身は色々と替えました。ベランダも取り替えました。1階の部屋も洋間、和室の間仕切りを取っ払って1部屋にしましたし。

N:住まわれていて、不便な点等は無かったのでしょうか？

K:不便なことは無かったね。

H:悪い方から言いますと、鍵が凄くちやちですよ。サッシを手で押すと、鍵が外れるんですよ。そしてすぐ駄目になるんですよ。何回も頼んで、替えてもらいましたね。それが1つと、コンセントが凄くちやちですね。すぐガバガバになるから、自分で外してペンチで曲げてはめ直さないと駄目ですね。それと雨の音ですね。昔で言うバラックのように、凄く音がしますよ。降りだしたらすぐにわかる。

K:1年目に結露したので、すぐに屋根をめくってグラスウールを無償で入れ直してもらったんですね。それで結露は無くなりました。ですから、ほとんど直していますよね。カーペットも2回替えました。和室の外ベランダをつけたり、好きなように改築したから住み心地はいいですね。それと、階段が気に入っています。洒落ていますよね。私は足が悪い（傘寿）ので、階段の棒を持ちながら登り降り出来ます。布団なんかでも干したものを2階からポイッと放り投げられますし（笑）。

N:台所や水廻りはいかがですか？

K:全部取替えました。換気扇もちやちなものが付いていたので全部替えました。塗装は、始めは7年位は大丈夫ということでしたが、錆びさせたらおしまいだと思って、外装は5年に1度、屋根は4年に1度塗り替えるということで気をつけていますね。

N:そうすると、色は何色かあったんですか？

H:現在の色になったのは前々回位からでした。緑っぽくなったのは、それまでは元の色に近い色に塗っていましたが、物置を取り替えた時に、その屋根が綺麗な緑だったので、これと同系統にしたいということで調合してもらいました。

N:緑も多く、庭も綺麗ですが、家の手入れをされている際に庭の方にも手を加えられたりしたのでしょうか？

K:庭は最初に全部予算を組んで入れました。植木屋さんが毎春・毎秋と年2回入っていました。最近は年1回にしています。

H:それから、目隠しのために竹で出来た塀を4~5年前に作りました。

K:塀を作ってから落ち着きましたね。

N:鳥が結構来ていますね。

K:たくさん来るんですよ。庭に餌台をつけたら、次々に来るようになりました。

H:メジロやシジュウカラ、それからスズメも凄いですよ。

N:餌はどんな餌何ですか？

H:鳩の餌として市販されていますものです、みかんや林檎も喜んで食べています。

K:ハトも番で来ますし、メジロもよく来ます、見てると三角関係見たいなのもいて面白いですよ（笑）。スズメは 30 羽位来ますね。餌をやるとワッと降りてきますよ。動くものがあると、見ていて面白いので退屈しません。

N:1 番始めのハイムのマークも鳥なんですよね。エバーグリーンというテーマだったんです。

K:昨日おとといもツグミが来ましてね。ムクドリも来ますしね。いつでも撮影できるようにカメラを置いているんですけどね。

N:そうすると、この家は鳥たちに有名な家なんじゃないですか？あの四角い家に行くと、餌が貰えると（笑）。

K:本当に退屈しないですね。幸い角地だったこともありますね。積水のその当時の経理課長さんにローンのごことで話を聞きに行ったことがあるんですが、その方もハイムを作られるということで、何回も家を見に来られましたが、我が家のように出来ないとおっしゃっていました。その方の家は角地ではないからです。結局その方も何年後かに M1 を建てられました（近所）

N:M1 に住まわれてきたことを振り返られますと、どのように感じられますでしょうか？

K:私は安心ですね。大地震が来てよそが倒れても、家は倒れないだろうと（笑）。

H:本当に大丈夫だろうなあ（笑）。いや、結構中身が錆びているんですよ。妻底も全部取り替えました。

K:それから、ちょうど建てて 7 年目に北側の家から火事になったんです。それで、その当時はまだ近くの団地も無くて、北風が吹きさらしでした。近所の家は樋が溶けたり、色々と被害に遭ったんですが、我が家はその年に限って秋の庭の剪定をしなかったんですね。木の 3 分の 1 か 2 位が焦げましたが、家はピクともしませんでした。

H:いやいや、ヒビが入っていたらしいです。ある日、2 階に蟻がいるんですよ。半年位して蟻が増えてきて、家具の間の壁を見たら蟻が出入りしているんですよ。おかしいなと思って、壁をつついたら中から水がザーッと出てきました。火事の時に外側にヒビが入って、壁と内装の間に水が溜まっていたらしいですね。下がお風呂なのですが、2 階から配管を見ていったら、蟻が配管に土のトンネルのような巣を作っていました。

N:それは修理されたんですか？

H:勿論、その時に 2 階の内装をやり直し、床も貼り直したんですね。

N:それはセキスイに頼まれたのでしょうか？

H:いえ、知り合いの大工に頼みました。セキスイに頼んだのは最初位で（来る度に職人さんが変わるので）塗装屋さんも色々な業者に頼みました。今は決めた業者です

K:そこの和室を改装する際に、セキスイに見積りを出してもらったら 100 数万かかると言われて、勿体ないから止めときなさいとハイムの方（笑）。それで知り合いの 1 級建築士に頼んで、床の間も仏間も作ってもらいましてね。そう考えると、この家は色々な部分を直し直し来ていますね。

H:あと、去年の暮れからねずみがいるみたいですね。下が錆びて空いているんですね。僕

がテープで塞いだんですが、今でも夜になるとたまに音がしますね。

K:妻の下を全部ステンレスに取り替えてもらったんです（ハイム）

H:中のアングルか何かもボロボロですね。それが地震等に対して不安なんですよ。叩くと錆びが落ちる音が凄いですね。

N:妻壁の所は、構造とは直接関係無いと思いますが。

H:そこからどうもねずみが入ったみたいなんです。去年の暮れに、エアコンの所の壁が、音がするからおかしいなと思って叩くと、ダーッと逃げていく音がするんですよ。今は 2 階の天井を走っている音が聞こえますね。

N:ねずみも気に入っているんじゃないですか？

H:妻やユニット連結部のわずかな隙間を走り回っていますね。よく電線をかじったりして火事になったような話も聞くので、それが心配ですね。

K:30 年近く住んでいて、後から建てられたご近所の家でも、炊事場が腐ったりとか床を全部貼り替えたり、色々となさっていますよね。我家はそういうことをしなくても、それこそ飛んでも跳ねてもびくともしませんでしょう？

H:築年数を考えれば上出来だよ。

K:それから以前、北側にブロックを積んだんですが、駄目だということでお金をかけて建てたものをお金をかけて外したんですね。ですから、風通しはいいですね。

N:今後も M1 に住み続けて行かれるおつもりですか？

H:地震が来て壊れない限りは（笑）。

K:最初は普通の木造の倍の年数もつと聞きました。そういう話も建てる時に聞きましたね。

H:どこが悪くなるのか、ですよ。

N:再築システムというサービスも行っているように、ユニットの構造自体の強度は問題ないと思いますし、妻壁部分等もメンテナンスをして頂ければ大丈夫だと思いますけどね。

H:確かに 2 階部分も妻壁部分がやられたもんね。

N:次の質問ですが、M1 が Docomomo100 選に選ばれたということに対してどのようにお感じになりますでしょうか？

K:これ見てビックリしましたね、誇りに思いました。美術館等も選ばれているということでしたから、それに何処が相当するのかなと思ひまして。

H:逆に言うと空気と同じですよ。何も気にならないからいいんでしょうね。特に不便も感じていないし、逆に良い家だなというのを感じないから、1 番良いんじゃないでしょうかね。

K:家を建てた時に、埼玉から来た友人が「この家はいいね」と言って、すぐに同じ M1 で家を建てられました。訪ねて来られる人は、皆「広いね」とおっしゃいますね。

N:これだけの広さがある柱が 1 本も無いというのは、在来工法では難しいですからね。その他に、今後増改築あるいは改修等のご予定はありますか？

K:今は特に無いですね。

H:先程のねずみの退治くらいですね (笑)。まあ、現状維持で、特に他には無いですね。

K:良い意味で住み慣れてしまいましたね。

N:では最後になりますが、お2人にとってM1とはどのようなものでしょうか？

K:これを選んで良かったな、これにフッと飛びつけたのも御縁だったかなと思っていますね。たまたま地震のことがヒントになって、M1を選んだのが幸せだったなと思いますね。安心ですものね。

H:30年間を含めてコストパフォーマンスが良いんじゃないかな、と思いますね。それに尽きるんじゃないですかね。

N:本日は有難うございました。